

## 電事連会長 交代会見要旨

(2020年3月13日)

### 【勝野会長挨拶】

先ほどご報告いたしました通り、私は本日をもちまして、電事連会長を退任し、後任の会長を九州電力の池辺社長にお願いすることといたしました。

昨年6月に、私が電事連会長を退任した際に申し上げましたが、2016年6月の電事連会長就任以降、目の前の課題一つひとつに対して、電力各社の社長と力を合わせ、業界一丸となって取り組んでまいりました。

その結果として、来月1日より実施される送配電部門の法的分離への対応や、電力需給の改善、原子力発電所の再稼働や原子燃料サイクルの事業環境整備など、電力システム改革を進めるにあたり、電力業界として解決すべき課題に、一定の目途をつけることができたのではないかと考えております。

また、関西電力の金品受け取り問題を受けて、昨年10月に再び電事連会長に就任してからは、電気事業や原子力発電に対する信頼回復に向けた取り組みとして、「企業倫理等委員会」の設置・開催などを通じて、各社のトップがしっかりとコミットしながら、コンプライアンスの徹底に向けた不断の取り組みを、真摯に進めてまいりました。

こうした取り組みをはじめ、まだまだやり残したこともあります。本日をもって電事連会長を退任し、後を池辺新会長に託したいと思っております。

申し上げるまでもなく、池辺新会長は、これまでの幅広い業務経験を通じて、電気事業全般に精通され、高いご見識をお持ちであることから、困難な課題が山積している現在の電力業界にあって、業界を先導するリーダーとしてまさに適任であると確信しております。

新会長を、是非とも宜しく願います。

最後になりますが、皆さまには大変お世話になりました。  
この場をお借りして、改めまして厚く御礼申し上げます。

### 【池辺新会長挨拶】

ただいまご紹介いただきました、九州電力の池辺でございます。このたび、電事連会長を拝命いたしました。

皆さまには、これまでも大変お世話になっておりますが、引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今回退任される勝野会長には、電力システム改革の進展など、大きな変革期にある電力業界を、優れた統率力と判断力をもってリードしていただきました。

また、昨年10月以降は、電力業界全体のコンプライアンスの徹底に率先して取り組まれるなど、勝野会長のこれまでのご苦勞とご功績に、心より敬意を表したいと思います。

申し上げるまでもありませんが、原子力に関する諸課題に加え、電力システム改革への対応、電力レジリエンスの強化、地球温暖化対策など、電力業界を取り巻く課題が山積する中で、電事連会長という大役を仰せつかることになり、責任の重さに身の引き締まる思いであります。

電力業界におけるコンプライアンスの徹底に向けた不断の取り組みを継続しながら、一日も早い原子力発電所の再稼働に向けて、審査に真摯に対応するとともに、自主的かつ継続的な安全性の確保に取り組んでまいります。

また、原子燃料サイクルや廃炉、高レベル放射性廃棄物の最終処分といった、原子力事業者に通ずる課題についても、関係事業者間で連携しながら、取り組みを加速してまいります。

一方で、再生可能エネルギーの主力電源化に向けた制度改革や電力レジリエンスの強化に資する託送料金制度改革などについては、将来にわたる安定供給

や「S+3E」を実現するにあたり、極めて重要であると考えております。

今後、国会での審議を経て、具体的な制度設計が進められていくものと思いますが、持続的な安定供給に資する制度措置の実現に向けて、電気事業者としてしっかりと協力してまいります。

また、この夏に予定されているオリンピック・パラリンピック競技大会に備えて、「電力サイバーセキュリティ対策委員会」の取り組みなど、電力各社がトップマネジメントのもとで具体的な対策を実行していくことを通じて、業界一丸となって、万全の態勢で電力の安定供給に努めてまいります。

電力各社の社長と力を合わせて、こうした諸課題を少しでも解決し、電気事業の発展を通じて我が国の経済や国民生活の向上に貢献できるよう力を尽くしてまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

以 上